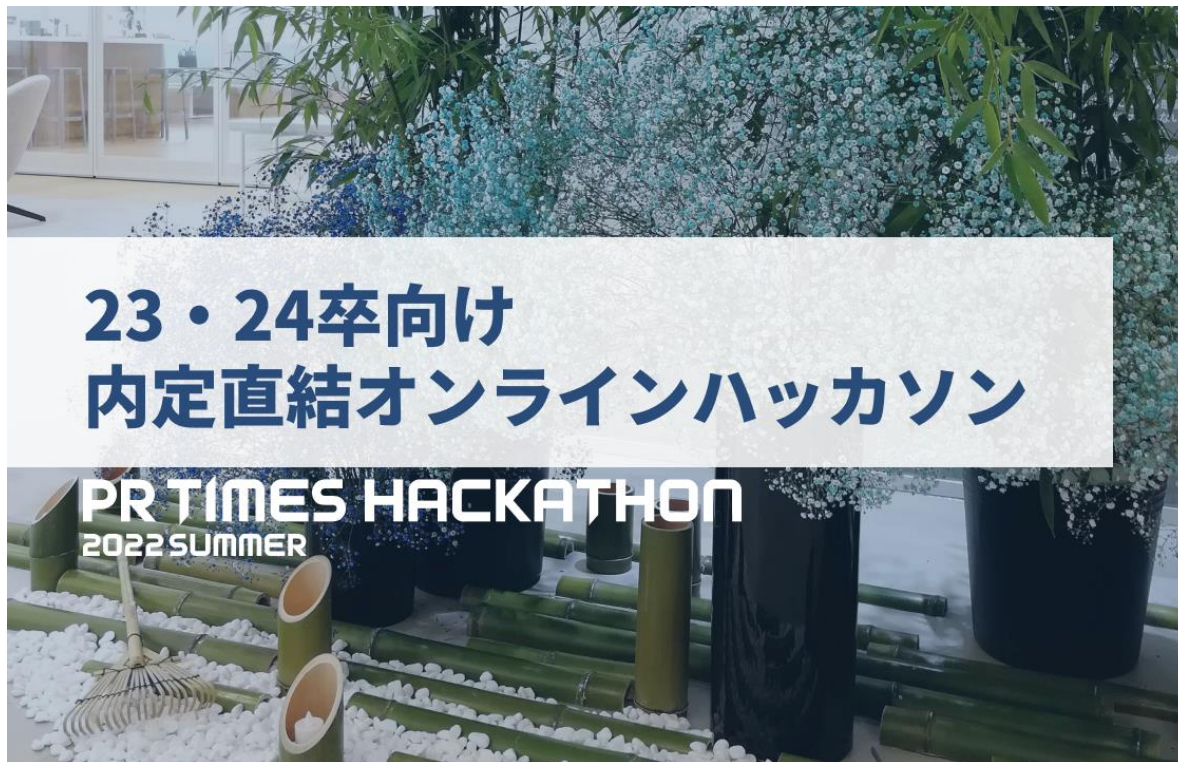


優秀者は即内定！23・24 新卒向けハッカソン

「PR TIMES HACKATHON 2022 Summer」8月8-9日開催

- 申込は7月31日まで。最優秀賞は月給35万円以上の中途採用基準で内定 -



プレスリリース配信サービス「PR TIMES」等を運営する株式会社 PR TIMES（東京都港区、代表取締役：山口拓己、東証プライム：3922）は、2023・24年卒業予定の大学生・大学院生・高等専門学校生・専門学校生のエンジニア志望学生を対象とした2日間にわたる「PR TIMES HACKATHON 2022 Summer」を2022年8月8日（月）、9日（火）に開催いたします。対象者からの参加エントリーは2022年7月31日（日）まで、下記ページにて受け付けます。

Wantedly : <https://www.wantedly.com/projects/1034753>

来年度卒業の学生も初募集

PR TIMES は2016年より、新卒採用と学生へ成長機会を提供することを目的に、2日間のハッカソンを過去8回開催してきました。昨年夏の開催では優秀な2022年度卒業の学生3名へ内定を出し、うち2名が2022年4月に実際に入社しました。ハッカソンを通じて入社した新卒社員は通算で9名となり、早期から各サービスの開発リーダーを務めたり、当社への貢献と成長度の高さから社内表彰を受けるなど各方面で様々な活躍をしています。メンバーの実際の活躍は「PR TIMES 開発者ブログ」にて日々発信しています。

◆PR TIMES 開発者ブログ : <https://developers.primes.jp>

9回目の開催となる今回は、次年度に卒業予定の学生も対象とする初の試みで、2学年同時募集となります。内定直結ハッカソンではエンジニアとしての技術に加え、当社の価値観とのマッチ度合いなどを総合的に判断し内定を出していることもあり、ハッカソンを通じて入社したメンバーはその後も当社で力を発揮し続けています。そのような社員をいち早く、一人でも多く採用したいという思いから今回の募集を決定しました。

また、これまで統一されていなかった本ハッカソンの名称を「PR TIMES HACKATHON」に統一し、今後も継続して開催していきます。私たちは、「PR TIMES」をはじめとする Web サービス運営において日々プロダクトのアップデートを実施しており、優秀なエンジニア職の採用と活躍は、事業成長を実現するために不可欠であると考えています。「PR TIMES HACKATHON」を通じて、今後、共にサービスを成長・拡大させていくことの出来る高い可能性を持つ学生を、通常の新卒採用枠とは別に採用いたします。

募集内容とコンテンツ

プレスリリース配信サービス「PR TIMES」の100万件を超えるプレスリリースデータをAPIを使って取得し、当日集まった学生による即席のチームで新規サービスや新規機能を開発していただきます。2023・24年新卒エンジニア職の採用選考を兼ねており、最優秀賞の受賞者には即戦力枠として、初任給35万円以上の中途採用基準で内定をお出しします。これはあくまで最優秀賞受賞者の“権利”であり、就職意向に関わらずハッカソンへ参加いただけます。

本ハッカソンは、これまでのハッカソンを通じて入社した若手エンジニアが主導して企画、運営しています。参加者が接する運営メンバーが同じハッカソンを通して入社しており、さらに年次の近い者であることにより、当社への理解や学生の成長を支える機会にできると考えています。

PR TIMES HACKATHON の特徴

1. 各チームにハッカソン出身メンターが伴走します

ハッカソンで内定を獲得して現在当社で活躍しているエンジニアがメンターとなり、参加される学生の質問に回答していきます。

2. 実際に使われているサービスから企画開発できる

PR TIMES が保持している100万件を超えるプレスリリースを使用できるAPIを使用して、自由にサービスや機能を新規開発できます。要件定義や実装準備の段階からメンターがサポートいたします。

3. 個人賞受賞者には即日内定を付与します

チームでの開発終了後、チーム賞と個人賞を付与する表彰式があります。そこで個人賞を受賞された方には2023・24年入社の内定を即日でお出しいたします。

【募集要項】

内 容：PR TIMES が持つ100万件超のプレスリリースデータを利用し、新規機能やサービスを開発する

日 時：2022年8月8日(月)、9日(火)の2日間

場 所：オンライン

募集人数：上限25名程度（事前課題あり：https://github.com/PRTIMES/assignments_hackathon）

応募職種：エンジニア（文系理系問わず）

応募条件：

- 学生（2023・24年に卒業予定の大学院生・大学生・高等専門学校生・専門学校生）※学部、学科は不問
- プログラミングもしくはWEB開発経験のある方
- GitHub アカウントを持っている方
（チーム開発ではGitHubを使用し、評価もGitHub上で確認出来るソースコードが対象となります）
- インターネット接続環境のある方（インターネット環境が必要な場合は当社より貸与いたします）

参加費：無料

申込方法：下記ページより、必要事項を明記の上ご応募ください。

Wantedly <https://www.wantedly.com/projects/1034753>

申込期限：2022年7月31日(日) 23:59

参加特典：技術力・適性を考慮して基準に達した個人賞の受賞者に2023・24年入社の内定をお出しします。最優秀賞の受賞者には、中途採用基準(*)でスタート時の給与を決定いたします。

(*)月給350,000円以上見込み賞与年2回

過去開催回の受賞者

これまでのハッカソンを通じて内定を受け、実際に入社しているメンバーは通算9名に上ります。ハッカソンで内定を受けてPR TIMESに入社した二人に、当時感じたことや学生の皆さんに伝えたいことを教えてもらいました。

開発本部 インフラチーム テックリード 櫻井慎也

2017年PR TIMESハッカソンで個人最優秀賞を受賞後、2018年4月に入社。入社後はPR TIMESのデプロイ速度改善(*)や開発環境整備などの数多くの技術課題を解決。サービスへの貢献と成長が評価され、2020年度の上期社員総会でMVPノミネートとBig Growth賞を受賞。

(*)詳細記事 <https://developers.prtimes.jp/2022/05/31/prtimes-deploy-improvement/>



<コメント>

PR TIMES のハッカソン採用は自身の開発力や限られた期間での成果物で評価されるため、エンジニアとしての本当の力を測れる採用だと思って応募しました。また当時はチームを組んで Web アプリケーションを開発するという経験もなかったため、非常に良い経験になりました。自分が応募したときよりも参加者の成果物のレベルも上がってきているので、今年はどのようなものが見られるのかとても楽しみです。

開発本部 開発チーム フロントエンドエンジニア 柳龍哉

2020 年 PR TIMES ハッカソンで優秀賞を受賞後、2021 年 4 月に入社。PR TIMES のサムネイル画像画質改善プロジェクト(*2)や PR TIMES Web クリッピング機能 β 版リリースなどの成果を遂げ、2021 年度の通期社員総会で新人賞を獲得。

(*2)詳細記事 https://developers.prtimes.jp/2022/02/24/press_release_image_optimization/



<コメント>

私は前々回からメンターや運営としてハッカソンに関わってきました。参加者の学生さん達のレベルは様々で、一人でどんどん開発を進められる人もいれば、まだ一人で開発するのは難しくサポートが必要な人もいました。私達メンター陣はそういった人をサポートするためにいるので、まだ自分の技術力に自信がない人もぜひ参加していただきたいです。また、前回からは Spatial Chat などを導入して、他の参加者の方達や私達と気軽に話せる機会を設けるように工夫しているので、ぜひお気軽にご参加ください！

PR TIMES HACKATHON 開催への思い

今回は通算 9 回目の新卒向けハッカソンとなりますが、前回に引き続き開発本部のハッカソン経由での入社メンバーが主体となって運営をしており、学生の皆さんをサポートします。

完全オンラインでのハッカソンは、直接メンバーと顔を合わせることがないためオフラインのコミュニケーションよりも難しい反面、様々な地域に住む学生エンジニアが参加しやすいという大きなメリットもあります。学生の皆さんにとっては、普段ご自身で研鑽してきた技術力をまだ見ぬ仲間とともにアウトプットすることで、技術だけでなくソフトスキルも向上する良い機会にしていきたいです。

私たち PR TIMES にとってこのハッカソンは、単に優秀な学生を採用する選考の場というだけでなく、力を振り絞りひとつの目標に向かって頑張る学生たちを応援し、行動と成長の機会となる場にしたいという想いもあります。

当社のミッションである「行動者発の情報が人の心を揺さぶる時代へ」を体現したハッカソンを開催したいと思っています。

PR TIMES 開発本部について

◆体制説明

開発本部には、開発チーム・インフラチーム・QA チーム・コーポレートチーム・プロダクトチームの 5 つがあり、それぞれのメンバーが専門性を活かしながら、PR TIMES をはじめ各サービスへの機能追加・改善を行っています。

「システム全体のセキュリティ向上」「マイクロサービス化を進めてモノリスの責務を減らす」「モノリスのレガシー改善」の 3 つの成果指標を掲げ、様々なリリースに取り組んでいます。

また、社員が年次に関係なく挑戦できる開発本部を目指しており、Web クリッピング開発リーダーは現在新卒 3 年目の社員が、PR TIMES STORY の開発リーダーは現在新卒 2 年目の社員が務めるなど、若いメンバーが挑戦・活躍しています。



◆開発プロセス

プロダクト開発の上流工程を担うプロダクトチームと密に連携し、開発者が開発に集中できるようなプロセスを作っています。リリース前に必ず QA チームによる QA を行い、安全なリリースができる体制にしています。

PR TIMES 開発者ブログ <https://developers.prtimes.jp>

PR TIMES について

PR TIMES（読み：ピーアールタイムズ）は、「行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ」をミッションに掲げ、企業とメディア、そして生活者をニュースでつなぐインターネットサービス「PR TIMES」を2007年4月より運営しています。報道機関向けの発表資料（プレスリリース）をメディア記者向けに配信するとともに、「PR TIMES」およびパートナーメディアに掲載し、生活者にも閲覧・シェアされています。利用企業数は2022年2月に6万5000社を突破、国内上場企業50%超に利用いただいています。情報収集のため会員登録いただくメディア記者2万3000人超、サイトアクセス数は月間5800万PVを突破、配信プレスリリース件数は累計100万件を超えています。全国紙WEBサイト等含むパートナーメディア210媒体以上にコンテンツを掲載しています。クライアントとメディアのパートナーとして広報PR支援を行うPRパートナー事業や、ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」の運営、動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」の提供、タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」やクラウド情報整理ツール「Tayori」の運営も行っています。



【株式会社 PR TIMES 会社概要】

ミッション：行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

会社名：株式会社 PR TIMES（東証プライム 証券コード：3922）

所在地：東京都港区赤坂 1-11-44 赤坂インターシティ 8F

設立：2005年12月

代表取締役：山口 拓己

事業内容：

- プレスリリース配信サービス「PR TIMES」(<https://prtimes.jp/>) の運営
- ストーリー配信サービス「PR TIMES STORY」(<https://prtimes.jp/story/>) の運営
- 広報・PRの効果測定サービス「Web クリップング」(<https://webclipping.jp/>) の運営
- クライアントとメディアのパートナーとして広報・PR支援の実施
- 動画PRサービス「PR TIMES TV」「PR TIMES LIVE」(<https://prtimes.jp/tv/>) の運営
- クラウド情報整理ツール「Tayori」(<https://tayori.com/>) の運営
- タスク・プロジェクト管理ツール「Jooto」(<https://www.jooto.com/>) の運営
- 広報PRのナレッジを届けるメディア「PR TIMES MAGAZINE」(<https://prtimes.jp/magazine/>) の運営
- Web ニュースメディア運営、等

URL：<https://prtimes.co.jp/>

PR TIMES